

やまなし 月見里農業紀行

はた 笛吹畑かん

果樹王国やまなしを支える

畑かんがい施設

山梨県東部に位置する峡東地域は、もも、ぶどうを主体とする全国一の果樹産地として知られています。かつて、峡東地域は稲作や養蚕が営農の中心でしたが、昭和30年代頃、全国的に製糸業が低迷し、果樹栽培へと転化する農家が急増しました。しかし、降水量が少なくばらつきもあったため、用水不足が農業生産の最大の課題となっていました。そこで、国と山梨県により、5市1町にわたる畑地かんがい施設（以下「畑かん」）、「笛吹畑かん」が整備されました。

畑かんは、人工的に水を供給する農業用水利施設です。笛吹畑かんは、広瀬ダムからパイプラインによって畑まで運ばれ、スプリンクラーで散水します。スプリンクラーは、末端自動制御器制御盤により管理され、作物の生育に併せて自動的に畑に散水できます。

笛吹畑かんの導入により、用水不足に悩む多くの農家の労力が軽減されました。農家の努力と合理的な水利システムにより、「果樹王国やまなし」と呼ばれるほど果樹生産が盛んになりました。笛吹畑かんは、これからも恵みの水として畑を潤し続けます。

月見里(やまなし)農業紀行について

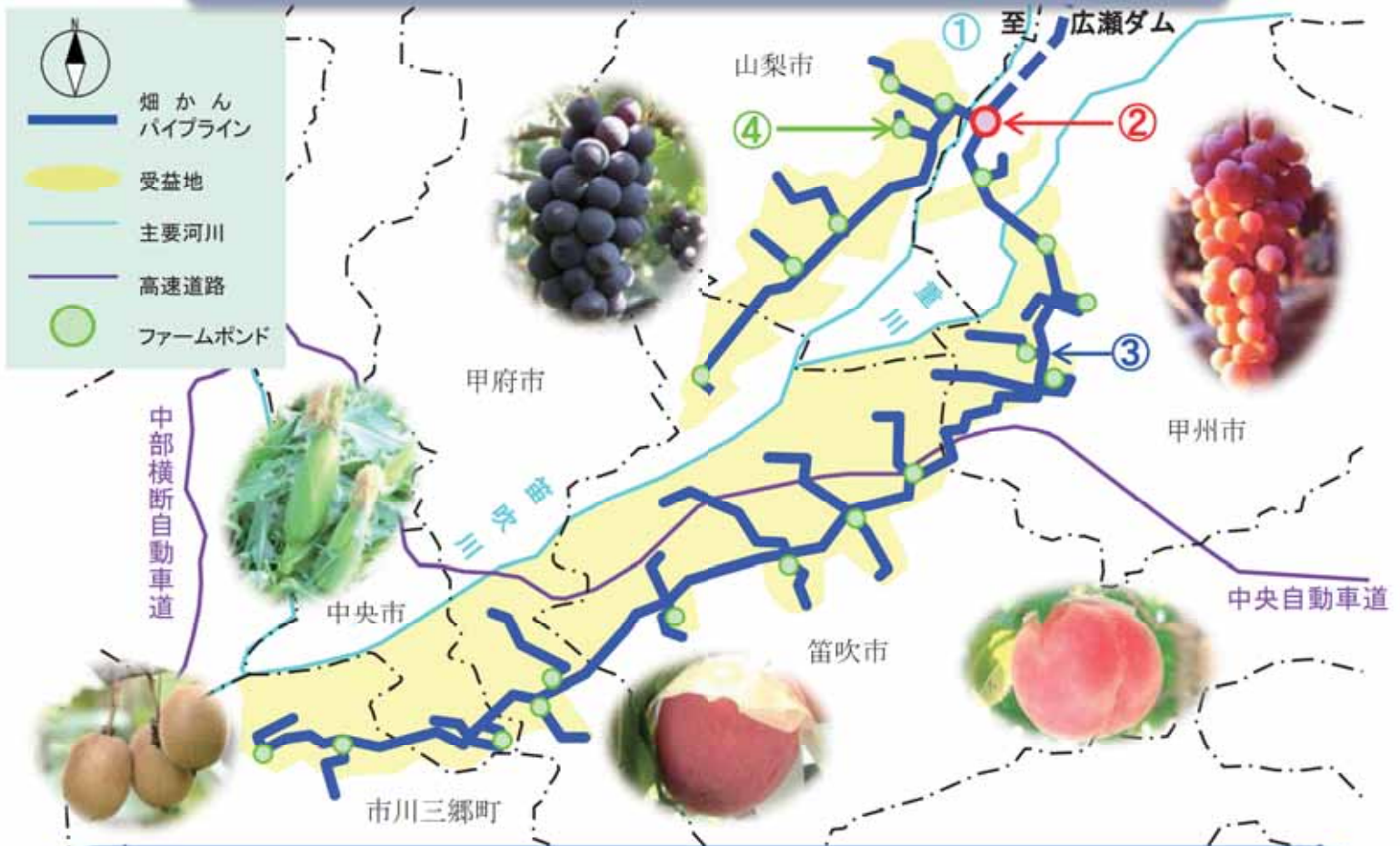
山が無い里は月がよく見えることから「月見里」と書いて「やまなし」と読み、山梨という地名の由来の一つとされています。この月見里農業紀行のページでは、山梨県内の様々な農業用施設(ため池、水路、農道等)の様子を紹介します。

桃源郷

「果樹王国やまなし」を象徴する峡東地域の桃源郷。笛吹畑かんの恵みの水が、この美しい農村景観の形成に大きく貢献しています。



笛吹畑かん受益図



水の道をたどる 広瀬ダムから200kmの旅

総延長約200kmの畑かん管水路は、4,000ha以上の農地を潤しています。
 県内最大の畑かん「笛吹畑かん」は、笛吹川沿岸土地改良区が日々管理しています。



県内最大の貯水量を誇る、畑地かんがい・洪水調整・発電等に利用される多目的ダムです。



広瀬ダムから引いた水を約9万m³貯めておくことができます。笛吹川右岸・左岸に送水します。



藤木調整池の水を各エリアのファームポンドへ運びます。



水をファームポンドと呼ばれるコンクリート水槽に貯め、管水路によって畑に送ります。



自動制御装置により、作物の生長に必要な量の水を適切に供給します。



ファームポンド上面を有効活用した太陽光発電に取り組んでいます。